

団体名	上智大学						
事業名	Sophia Student Integration Commons 田辺市熊野スタディツアー						
実施期間	令和6年6月1日～2日						
場 所	和歌山県田辺市						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	7	9	1	4	2	0	23名

<実施内容>

●本事業のテーマ 世界遺産「熊野古道」をきっかけとして、日本の地方都市である田辺市がどのような課題に直面しどのように熊野の伝統を継承しようとしているか、熊野古道歩きや一次産業体験（梅収穫）を通じて田辺市のSDGsの取り組み（「森（自然）を守る」「地域の産業を守る」「地域の暮らしを守る」）を知る。参加者がそれぞれ田辺市の「関係人口」となり今後田辺とどのような関わりができるかを考える。 ●事前学習 5/22(水), 5/29(水) 和歌山県田辺市関係者による講話をオンライン(Zoom)で開催した。 ・「田辺市の梅について」 田辺市の紹介、梅の歴史や栽培方法について（たなべ営業室・入口氏） 日向屋の事業について（株式会社日向屋・岡本氏） ・「熊野古道について」 歴史や現状、見どころなど（田辺市熊野ツーリズムビューロー・マイク氏） ●スタディツアー 6/1(土)-2(日) ・梅収穫体験（日向屋） ・梅加工体験（秋津野ガルテン） ・まち歩きガイドツアー（天神崎、闘鶏神社） ・熊野古道ガイドツアー（世界遺産熊野本宮館、熊野本宮大社、熊野古道） ・とれとれ市場散策 ●事後課題 スタディツアーレポート作成。 テーマは以下、 ①田辺や熊野古道、日向屋のどのような取り組みがSDGs的であると感じたか、その理由も含めて説明してください。 ②田辺の“関係人口”としてあなたが今後どのようなアクションを採ることができるか具体案を3つ以上書いてください。
--

<記録写真>



日向屋さんで梅収穫体験



秋津野ガルテンで梅加工体験



田辺市熊野ツーリズムビューローのマイクさんによる熊野古

<参加者からのコメント>

リー チウ ラムさん（中国）/Lee Chiu Lam	ワン ユー フワイさん（台湾）/WANG YU HUAI
このツアーに参加できて嬉しく満足しています。梅体験や様々なスポットを訪れるなど、たくさんの新しいことに挑戦できました。特に熊野古道が気に入りました。ガイドのおかげで簡単に訪れることができ、その遺産についてもっと知ることができました。日本人学生と話すの	一泊二日間のツアーはちょっと短いですが、この二日間はとても充実して、楽しめました！これまで和歌山県に行ったことはありませんが、今回のスタディツアーに参加して和歌山県の魅力がわかりました。これからは和歌山県のことを他の人に伝えていきたいと思います。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Sophia University
事業名	Sophia Student Integration Commons Kumao Study Tour